

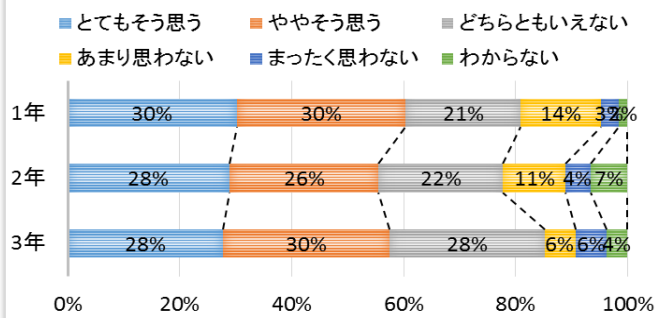
学校運営協議会だより

令和2年 3月1日 荻窪中学校学校運営協議会発行 Vol.21

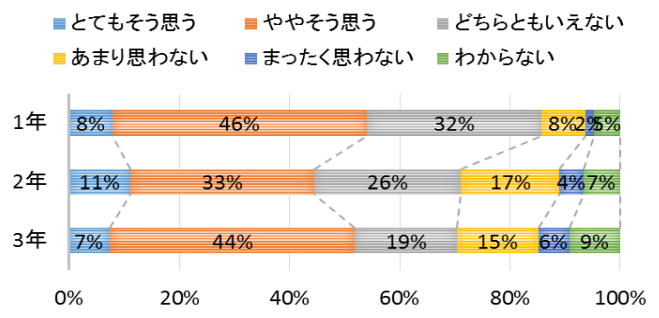
CS アンケートへのご協力ありがとうございました

令和元年12月に実施しましたCSアンケートの結果を下のグラフにまとめました。
 グラフは、それぞれの設問について学年ごとに集計し、各選択肢への回答の割合を示したものです。

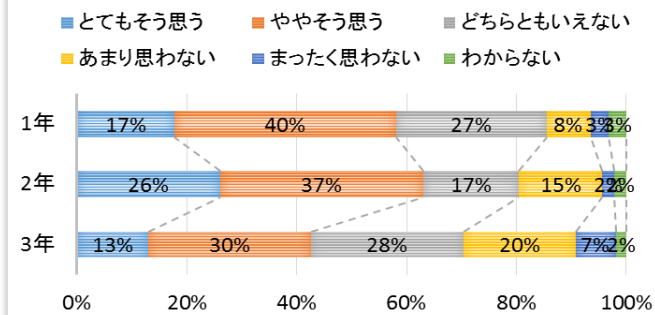
1 CSだより・HPを読んでいる



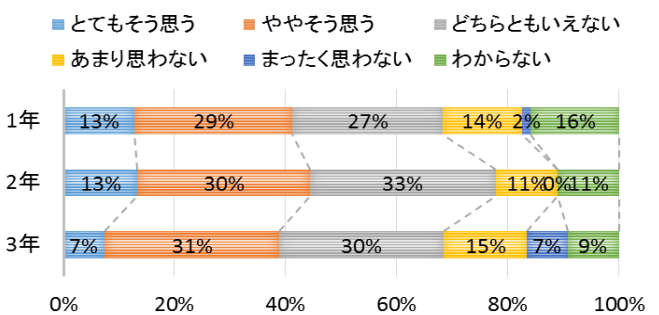
2 施設の安全性・環境が整っている



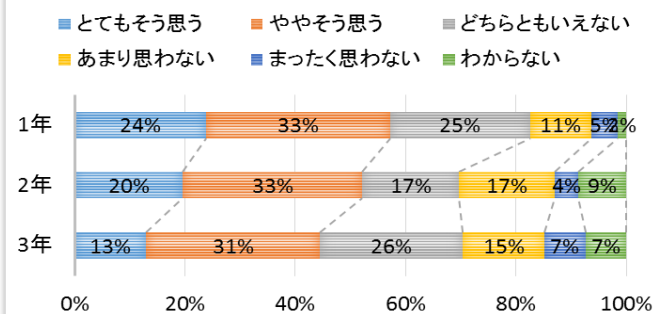
3 保護者は学校や先生に相談しやすい



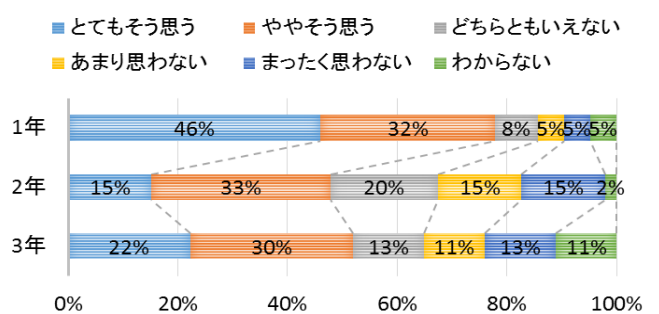
4 保護者会に満足している



5 学校公開日・土曜授業は参観しやすい



6 部活動に満足している



自由記述欄へも多くのご意見をいただきました

- ・ 出会った先生は皆、感じ良く対応してくれる。
- ・ 学校の様子を率直に教えてくれるので、何でも相談しやすい。
- ・ 学芸発表会がすばらしかった。小学生から中学生になることで、子ども達の成長を感じることができた。
- ・ アットホームなところと子ども達が必ずあいさつをしてくれるところが何より素晴らしい。
- ・ 土曜授業に外部から様々な人を招いて現場の話を聞かせてもらい、子ども達にとってもいい刺激となっている。
- ・ (学校公開日・土曜授業は)内容に興味があっても参加者が少ないと入りにくい。
- ・ 校風なのか全体的にのんびりした感じが子どもにも保護者にも安心感を与えてよいと思う。
- ・ 部活動は楽しそう。

CS(コミュニティ・スクール)懇談会

～生徒・学校運営協議会～ 令和元年11月28日(木) 16:10～17:10 本校会議室

生徒・学校運営協議会委員が37名参加し、『生徒が考えること・望むこと』をテーマに懇談をしました。

○ 生活面 ○

○ 学校では…

- ・友達関係が良く、イベントに対しての集中力がある。
- ・生徒側が先生によって態度を変える。
- ・先生と生徒の仲が良い分、生徒が自主性に欠けている。
行事では自主的に動いているが、クラス運営でも学級委員を中心にもっと自主的に動けるようにしたい。
- ・先生たちにしばられて生徒の意見が通らない。
- ・自宅が遠い人にとって再登校は時間的に厳しい。
- ・時間を守れない学年がある⇒1年は男子が遅刻。2年はギリギリ。3年は5分前着席が徹底している。

○ 家庭では…

- ・自分のことは自分たち自身で考えたい。
- ・学校からの手紙は目を通して判断し、重要なものしか出さない。
- ・親との会話はテストや塾で忙しく時間が足りないが、信用してくれていると思っている。
話したい時のみ話したい事を話す。

○ 施設面 ○

++ 校庭 ++++++

- ・校庭の水はけや凸凹がひどいので整備してほしい。⇒ CSとして区に要望を出しています。
- ・北側校庭のバスケットコートを整備してほしい。

++ 校舎 ++++++

- ・トイレの臭いが気になる。 トイレにも消毒スプレーを設置してほしい。
- ・富士山階段に照明をつけてほしい。⇒ 投光器を設置しました。
- ・避難訓練の時は、避難スロープや非常階段の使用確認もしたい。⇒ 防災教育DAYに確認できました。

++ 体育館 ++++++

- ・体育館の床が滑る。
- ・体育館のコートを仕切るためのネットを無くすか位置を高くしてほしい。



〈富士山階段の投光器〉



〈避難スロープ〉



CS(コミュニティ・スクール)研修会



令和元年12月18日(水) 16:00～17:20 本校会議室

今年度の研修会は「荻中独自のCSのあり方を考える」というテーマでグループ討議を行いました。

◇ アンケート結果を学校づくりにいかすには

- ・CS懇談会に出席していない人の意見にも耳を傾ける。

◇ 部会組織(評価・広報・サポート)について

- ・組織ができたことによって意見が出やすく、プラスになっている。

◇ 学校を良くしていくためには

- ・CS委員のメンバーに保護者や地域の人々が入っていることで CSの存在が周知されつつあり、CSだより、CSアンケート、懇談会などの活動を通して理解が深まってきている。
- ・一昨年から始めた教職員との懇談会が有意義なものとなっている。

◇ 小学校との連携は

- ・今後必修となる英語科の指導については小学校から中学校への連携が重要である。

◇ おぎすけとの連携は

- ・おぎすけとPTAは『メンバーズ』の活動が定着し協力できているが、CSもおぎすけとの懇談会などを実施し、共に学校に対してのサポート体制を考えていく。

